

改革・改善サイクルに係る対応方針

下水道部

所管課	グループ	事務事業名	評価員コメント	今後の方向性	具体的な取り組み内容	改善目標	備考
下水道管理課	施設等運営	下水道台帳補正業務	・一次点検の方向性に異論なし。	現状のまま継続	引き続き、円滑な事務の執行に努めていく。		
下水道管理課	施設等運営	河川・水路・法定外水路境界明示事務(公共下水道区域内)	・一次点検の方向性に異論なし。	現状のまま継続	引き続き、円滑な事務の執行に努めていく。		
下水道管理課	施設等運営	河川及び下水道管理事務(公共下水道区域内)	・一次点検の方向性に異論なし。	現状のまま継続	引き続き、円滑な事務の執行に努めていく。		
下水道管理課	認証・指導(所)	公共下水道促進事務	・一次点検の方向性に異論なし。	改善	<p>今後も未接続家屋に対して計画的に実態調査を行い、水洗化促進に取り組んでいく。</p> <p>また、水洗化促進を図る啓發文書について現行の年2回の発送に加え、助成制度に基づく補助金交付額が供用開始から1年経過後に低くなるため、その4ヶ月前(平成28年2月)に文書発送を追加し、年3回の発送とした。</p> <p>公共下水道促進事務の年間業務件数はほぼ5,000件近くあり、人力的な要素も含め、現状のまま継続していくものである。</p>	水洗化促進を図る啓發文書について、現行の年2回の発送に加え、適切な時期に追加していく。	

所管課	グループ	事務事業名	評価員コメント	今後の方向性	具体的な取り組み内容	改善目標	備考
下水道管理課	補助金（所）	水洗便所改造資金補助事業	・一次点検の方向性に異論なし。	現状のまま継続	水洗便所等の改造工事費用は私費をもって行う必要があるため、経済面での負担が大きいことが未接続家屋の主な要因となっている。そのため助成制度についてPRを徹底し、引き続き水洗化促進に努めていく。		
下水道施設維持課	施設維持管理	下水道維持管理事業	・行政として責任を持ってやる事業であり、市民要望対応だけの事業ではない。 ・市民の要望が多様化しているとのことだが、その内容は「私的」な案件が増えているか？行政サービスとして行うべきラインをきちんと定めているか？また、委託料の増加は妥当か？	現状のまま継続	下水道施設の機能確保のため、緊急性や費用対効果を考慮し直営と委託により効率的かつ効果的な維持管理業務を行うとともに経費削減に努める。また、今後も市民からの要望や通報に対しては現場調査を行い下水道管理者として適切に対応していく。		
下水道施設維持課	施設維持管理	ポンプ場維持管理事業	・一次点検の方向性に異論なし。	改善	設備機器の長寿命化計画を策定し、計画的な補修や更新を実施する。	平成27年度に下水道施設ストックマネジメント基本構想を策定し、これに基づき平成28年度以降に長寿命化計画の策定及び実施設計を順次行い、事業を進めていく予定。	

所管課	グループ	事務事業名	評価員コメント	今後の方向性	具体的な取り組み内容	改善目標	備考
下水道施設維持課	施設維持管理	景観水路維持管理事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現景観をそのまま維持するのではなく、成長する樹木などに併せ機能維持を図ること。樹木管理には視野の確保や夜間の状況など防犯の視点が必要では。</li> <li>・アダプト制度の導入によって市民への配慮が損なわれない視点を意識した取り組みの継続を期待したい。「景観」の中にも「防犯」の視点が抜け落ちないよう植樹のバランスも検討する必要がある。</li> <li>・現状維持を前提とせず、限られた財源の中で許容される支出の程度を検討する必要がある。</li> </ul>	改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状の景観をそのまま維持するのではなく、樹木管理では視野の確保や防犯の視点から適正な配置、空間の確保に努めるなど、景観機能を考慮した見直しや変更を進めることにより、維持管理業務の経費を削減していく。</li> <li>・アダプト制度については、清掃活動等を市民に協力して頂き、景観水路の美化に協働で取り組み、市民に親しまれる快適な水辺空間を維持していくもので、今後も協力団体の参加募集を進めるとともに、市民のゴミ捨て防止の意識啓発も進めていく。</li> </ul>	景観機能を考慮した見直しや変更を進めることにより、業務委託の事業費を削減する。	二次点検・評価対象事業